

令和4年度 8・9月号

蕨市中央6-8-25

TEL 442-2672

児童数	(名)
男子	203
女子	173
計	376

校長 原田 卓治

明るい子 かしこい子 たくましい子

元気がある 夢がある 楽しい学校 中央小



# 中央小だより

## 京都祇園祭・鷹山復活に思う

2学期が始まりました。子どもたちの元気な挨拶・明るい笑顔に出会えたとても嬉しい日です。

新型コロナウイルス感染症第7波による感染者数が増え、学校の教育活動も懸念されるところですが、引き続き感染症対策を十分に行い、教育活動を展開して参りたいと考えています。ご家庭にお願いすることもあろうかと思いますが、よろしくご協力ください。

さて、この夏、京都祇園祭が3年ぶりに実施されました。私が興味を持っていたのは、その後祭りで196年ぶりに復帰を果たした「鷹山」の巡行でした。

鷹山(鷹をモチーフにした曳山)は1467年から始まった応仁の乱より前から、巡行に参加した記録が残っているそうです。その鷹山は、1826年の巡行で、暴風雨による被害を受け、更に1864年の火災で大部分を焼失してしまい、以降「休み山」となり、巡行に参加していませんでした。

そういった中、2015年に鷹山を復活させるために「鷹山保存会」が設立され、書物に鷹山の絵は掲載されているものの設計図はない状況で、復元がなされ、去る7月24日の後祭りにて、見事な復活を遂げたのでした。その際、鷹山保存会の会長さんが「僕らは鷹山の復活を巡行目的でやってきました。しかし、この2年間でその考えは変わり、巡行の原点である『疫病退散』、『天下泰平』の祈りを捧げたいという思いに変わってきました。」という主旨のお話をされました。

まさに、物事を成し遂げる本質だと思いました。「何故、それをするのか。」、「本当に必要なのか。」、こういったことを常に考えて、私も教育活動を推進すべきだと強く思ったのでした。

「鷹」ついでに。話は変わりますが、私も知らなくて恥ずかしいことながら、本校でこの7月24日に2羽の雀鷹(つみ。鷹の一種)が巣立ちました。本校出入りの鳥に詳しい業者の方が教えてくださったのです。6月には抱卵、7月上旬に雛を確認していたそうです。私も目視しましたが、立派に育っていました。9月には南方に渡っていくとのこと。動画を掲載しますので、興味のある方はご覧ください。

併せて、この夏に私が体験した、感動の体験(セミの脱皮)の様子も掲載します。

(別途、通信料がかかります。)



セミ歩き



セミ脱皮初期



セミ脱皮後期



雀鷹動画